



ひらびだより

No.7. 2025. 9. 30

先月のかよさんの原稿を読んで、息子さんの葛藤と気持ちの変化に思いを馳せ、見守る母・かよさんの気持ちに共感して涙したねぎです。

高校3年生の息子をもつ私も、毎日一緒に過ごせる期間はあとちょっと…と思い、息子のことを振り返ってみました。

一人っ子の息子は、ひょうきんで誰とでもすぐ友達になる、明るくて優しい子です。（私に似て片付けが苦手な、夫に似て行動は消極的）ピアノやドラムも得意で、記憶力もいいので中学までは授業を一度聞けば大体覚えていたよう。（さすがに高校はそんな訳にはいかずですが）なんでもできてうらやましいな～と親の私も思っています。

でもそんな息子も、人と大きく違い悩んできたことがあります。5歳の頃脱毛症を発症しスキンヘッドなのです。

保育園の頃は気にしていなかった見かけの違いも小学校に入ると、「みんなに頭を触られる」と嫌がるようになりました。高学年になってくると、息子を知っている周りの子達は何も言いませんが、1・2年生の子達の天真爛漫が故に鋭い言葉（「坊主」とか「ハゲ」）や、入っていたサッカークラブの試合での相手チームの子からの視線が息子を苦しめました。自分と他人との違いを意識する年齢だからこそその苦しみだと思います。

その度に小学校の先生方やサッカークラブのコーチが丁寧に対応してくださりました。周りの仲間たちも何か言う子がいると「それは言われて嫌な言葉だ」と伝えてくれていたようです。

ただこの先社会で生きていく中で、周りに助けてもらっただけでなく、自分自身で思いを伝えたり、ありのままの自分を受け止めていってほしいという思いがありました。挫けないことが大切なのではなく、何かあったとき挫けてもそこから立ち上がる力をつけてほしい。母は「何かあったら聞くよ」というスタンスで中・高時代は過ごしました。

今では、髪のこと悩んでいるそぶりは全く見せません。今回、原稿を書くにあたって髪のことどう思ってる？と尋ねてみました。

「んー、すれ違った人とかの視線が全く気にならないって訳じゃないけど…。これがオレだから。」「生まれつきや怪我で足がない人だっているでしょ。それと同じだよ。一人ひとり違って当たり前って今の子達はみんな思ってるんじゃないかな。」

髪がないことは悪いことばかりではなかったようです。合唱コンクールでピアノの伴奏をした時、終わった後に雑踏の中、審査員の他校の先生から「素晴らしかったよ」と声を掛けられたそうです。どこにいても目立つ息子は見つけやすかったのでしょう。

高校に入ると、サッカーの試合や吹奏楽コンクールでかつて競った同級生が覚えてくれていて仲良くなったり、コンサートを見に来ていた見知らぬおばさまに駅で声を掛けられたり。

息子の努力や性格もありますが、周りの方のそんな支えがやっぱり息子を強くしてくれたんだなと感謝するばかり。

まだまだこの先悩み、苦しむこともあるだろうけど、君ならきっと大丈夫！

「一人ひとり違うことを認め合あい、尊重し合う社会であってほしい」
これは、私が芸術の時間で子ども達に一番伝えたいと思っていることです。
見た目も、性格も、考え方も…どんなあなたも大切だよ

：峰岸麻奈

庭の恵みを食べよう遊ぼう楽しもう 10月

今年の夏は長く、暑かったですね…。ようやくひんやりとして秋らしい気温になり、雨や朝露でしっとりとした地面からはキノコたちがポコポコと顔をみせてくれるようになりました。今日は、木火によくみられるキノコ、おいしいキノコ、毒のある！キノコ、美しいキノコをご紹介します。なんだか動きだしそうで、かわいくて

神秘的で、ちょっと不気味でもあるキノコの世界を

どうぞ“お楽しみ下さい” : 菜々恵

カヤタケ

森の落ち葉を分解するキノコ。傘状のものがたくさんあるかさの大きさ4~8cm



ドクツルタケ

世界の中でも最も毒性の高い毒キノコ。

1本食べると致命的とも！英名はdestroying angel (死の天使！)



タマゴタケ

ナラ、モミなどの木の下に生える黄色いひたひたの美しくおいしいきのこ♪

バター・クリームなどオススメ



ムラサキホウキタケ

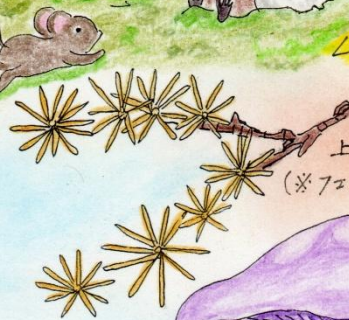
どんぐりが生える雑木林でみられる。食用になり、すき焼き、酒粕の物、けんちん汁がオススメ！



ムラサキシメシ

(食べられる)

雑木林の落ち葉の上に車輪によって(菌輪)(※フェアリーリングともいふ)で、生たて中毒



ベニテングタケ

シラカバの林に多い愛らしく美しいので、人気。絵本にもよく登場する毒キノコ！



ハナイグチ

夏~秋にカラマツ林でよくみかけるシゴボウとよばれ、おいしい！



2025 © 阿部 菜々恵

親子で稲刈り遠足のお知らせ



みんなで植えた 田んぼの稲が 黄金色に近づきました。

金色の穂が垂れている景色は 秋の実里を感じます。

ひろひろでは 機械は使わずひとりひとり鎌を持てる人は持て、丁寧に稲を刈り、藁で稲を縛り、はぜかけをします。

おおきくみの子ども達から生まれた 思い思いのおもしろいかかしたちも 田んぼで お待ちかねです。

親子 みんなで 稲刈りをしましょう。

- とき 10月8日(水) 予備日として10月7日(火)
- 集合 午前 9時～9時15分 (20分に朝の集まりを始めます)
- 解散 昼食後
- ところ ひろ、ひろの田んぼ (発地 ほたるの里)
- 持ちもの お弁当、水筒、お手拭き、着替え、替えの靴、タオル、敷物、雨具、上着(風が吹く日は寒くなります)
草刈り鎌 (貸し出し用がありますが、できるだけご準備ください)
- 服装 長袖、長ズボンの汚れてもいい月服
田んぼ 靴化 または 長靴化、軍手
安全を
考えて
- トイレ・水道 トイレは県道沿いにある公共トイレをご利用ください。
できるだけ直前に済ませて集合してください。田んぼにも水のタンクをいくつかご用意しますので 手洗いにご利用ください。
- 馬主車スペース 田んぼの空き地に、駐車できます。
入口が 狭いので ご注意ください。近隣の方のご迷惑にならないよう 住宅地の走行はできるだけ控えてください。
- 雨天 予報や あやふやな 天気の場合は、前夜または当日朝7時ごろメールで連絡します。
- 田んぼのことの 質問は、新井・渡辺にお気軽に声がけください。